

5.7.1. 企業・団体へのヒアリング結果一覧(現状把握している範囲) 1/3

*本ヒアリングで得られた、賛同意向は参加を保証するものではない

企業・団体名	頂戴したコメット(一部)	取組事例	詳細	備考
	<ul style="list-style-type: none"> ・できる範囲で協力したい。 ・食の安心・安全から始めるという視点は良い。 ・継続的な取組のためには企業利益との両立が重要。 ・いい取り組みを行っていても、企業が単体で言つては見てくれない。 	<p>「NDF-HACCP」認定制度 遺伝子組換農産物完全排除 保存料・合成着色料排除 農薬残留原則禁止 トランス脂肪酸低減 リン酸塩未添加</p> <p>「レシピマスターシステム」 表示ガイドライン 安全な箸 「セブンプレミアム」 「セブンミール」 専用工場・専用ライン 「コードチーンシステム」 20°C(±2°C)の維持 扉のないアイスケース 地域食材を使ったメニューの開発 季節によって変わる味</p>	<p>参考: 5.8.</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・コンビニエンスストア1位 ・店舗数: 約1万2千店 ・従業員(臨時含む): 約2万7千人
	<ul style="list-style-type: none"> ・意義深いことであると思う。やるなら一生懸命やり、成果が出るものにしたい。付き合いや軽いのりでやつても仕方がない。 ・多くの企業を巻き込み、いろいろな側面を持つているのは良いことである。特に、ドラッグストアは中核を担える産業だと思う。 	<p>「Japanドラッグストアショー」 アドバイザー認定制度 薬剤師の写真集 セルフメイカーション推進 登録販売者試験 「セルフメイカーションアワード」</p>	<p>参考: 5.9.</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・正会員: 189社 (マツモトキヨシ等) ・賛助会員: 231社 ・店舗数: 11,000店 (正会員のみ 総合では15,000店) ・国民の6,500万人に 1人が週に1度利用 (改正薬事法後は、8,000 万人に1人) ・薬剤師: 17,000人
	<ul style="list-style-type: none"> ・食育基本法成立以来、食育がゲームになつていて、その前から「食への取り組み」という表現で具体的な行動を実行していった。 	<p>「オープンキッチン」 「キューーピーニュース」 「ビデオライブリー宣言」</p>	<p>参考: 5.10.</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・マヨネーズ1位 ・工場見学参加者: 年間約11万人
	<ul style="list-style-type: none"> ・内容次第では非参加したい。 ・国の方がつくことによる安心感には期待している。 ・また、国がセミナー・やイベントを開催する機会等があれば、その中の一つとして参加してみたい。 	<p>「ちびっ子健康マラソン大会」 「わくわくブック」 キットを利用した体験講座 食事バランスガイドの活用 「スパイス＆ハーブこども研究室」</p>	<p>参考: 5.11.</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭用香辛料1位: ・マラソン大会参加者: 年間約5万人

*備考に掲載した数字は、ヒアリング時にお聞きした内容や各社HPの掲載内容により

5.7.2. 企業・団体へのヒアリング結果一覧(現状把握している範囲) 2/3

※本ヒアリングで得られた、賛同意向は参加を保証するものではない

企業・団体名	貢献したコトバト(一部)	取組事例	備考
UCC Good Coffee Smile UCC	・環境の次は食育に取り組みたいと思っていた。特に、安心・安全という視点で検討もしている。	・イベントとしての取り組み「コーヒービークミングセミナー」 販促企画としての取り組み	・家庭用コーヒーベークミングセミナー1位 ・協会会員55企業 (日清食品、東洋水産等)
サンヨー食品株式会社 伊藤園	・良いことだからバックアップしたい。 ・日本即席食品工業協会として賛同した方が良い。 (インスタント麺は食育とイメージ的にかけ離れているため、各メーカーが単独でやるよりも良い)	・賛同する。生活者の関心が高い分野をきっかけとするようなシナリオは素晴らしいと思う。 ・緑茶や野菜の正しい知識の提供という側面で貢献できる可能性がある。	・即席麺3位 ・緑茶飲料1位 ・ワイン1位
Mercian メルシャン	・お酒は悪といいうイメージがあるが、できる範囲で協力したい。 ・メーカーとしてより、業界団体等全体として取り組むべきだろう。	・お酒は悪といいうイメージがあるが、できる範囲で協力したい。 ・国が、楽しい食事のーアイテムとしてお酒の存在を認め、広めて欲しい。	・妊娠・出産・育児 関連雑誌1位 ・[bonmerci]発行部数: 年間約27万部
KB Wine 京橋ワインリカーショップ ベネッセ	・国自体に、企業とタイアップすることとの抵抗感があるため、もっと企業のノウハウを活用すると良い。 (ベネッセは、国や地方自治体の取り組みとタイアップした実績がある) ・同時に、企業をうごかすインセティフの提起が欲しい。	・内容次第では非参加したい。 特に、正しい知識を持っていますといい込んでいる人が多いことは現状の課題だと感じている。	・通信教育1位 ・「こどもちゃんじ」、「進研ゼミ」 会員:約200万人
DHC	・国には、参加の敷居を下げる役割を期待したい(現在提供している親子で学ぶセミナーは、最初の一歩を躊躇される参加者も多いため)。 ・情報が氾濫しており、現在の親は何が正解かをわからぬ。自信を持つきっかけを与えたい。	・たべるのだいすき!げんきっこ」	・通信販売会員数: 約570万人
LION ライオン	・歯の健康ヒヤクできるなら、参加できること性がある。 ・既に実施している取組を多くの人に認知させる場として期待したい。	・「はぐはぐの森」 「ハイチャード・ビレッジ」	・歯科用品1位 ・園・学校歯科保健活動

※備考に掲載した数字は、ヒアリング時にお聞きした内容や各社HPの掲載内容により

5.7.3. 企業・団体へのヒアリング結果一覧(現状把握している範囲) 3/3

*本ヒアリングで得られた、賛同意向は参加を保証するものではない

企業・団体名	頂戴したコメント(一部)	取組事例	備考
 SHISEIDO 資生堂	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的には趣旨に賛同する。 ・美をきっかけにし、ヘルスケアと組み合わせたトータルソリューション「美療」を提案したいと考えている。 	美と健康に関する取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・化粧品1位
 NOVARTIS ノバルティス フィーマ	<ul style="list-style-type: none"> ・参加しておきたい。色々なahrを持っているので、提供することも可能だと思う。 ・テーマに前向きに戦っているイメージの形成を期待する。 		<ul style="list-style-type: none"> ・高血圧症治療薬1位
 Aflac アフラック			<ul style="list-style-type: none"> ・がん保険1位 ・医療保険1位 ・直営店:約440店
 NEC	<ul style="list-style-type: none"> ・「してはいけない」ではなく、「元気で楽しくやつっていく」という前向きな訴求を期待したい。(会社が社員の健康管理を行うにあたり、雑音を消してくれる大義名分が欲しい) ・役員も、「人が資本であり、モチベーション・生産性のため、社員の健康管理は重要」と認識している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・家族参加型イベント ・携帯電話による健康増進支援サービス ・「健康ポイント(仮称)」付与 ・「食事バランスガイド」を中心とした食育の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・PC/サーバー1位 ・NEC従業員数(連結):約15万人
 Microsoft マイクロソフト 日本 アイ・ビー・エム	<ul style="list-style-type: none"> ・会社としてワークライフバランス等に力を入れ始めており、社員に向けたメッセージを発して行きたい。 ・その際、国が最新情報の提供等で企業を支援して欲しい。国が企業の取組を後押しする基盤ができる要素素晴らしいと思う。 		<ul style="list-style-type: none"> ・ソフトウェア1位
 100年をつくる会社 鹿島建設	<ul style="list-style-type: none"> ・賛同する。生活者の関心が高い分野からの取組は、まさしく本当のマーケティングでありインバウトは大きいと思う。 ・本業との関わりは薄いかもしないが、我々にできることが何かないか考えてみる。 		<ul style="list-style-type: none"> ・ITサービス1位 ・従業員数:1万7千人(子・関連会社含まず) ・主要子・関連会社:53社
			<ul style="list-style-type: none"> ・建設1位

健康関連企業

健康管理を経営の重要な課題とする企業

*備考に掲載した数字は、ヒアリング時にお聞きした内容や各社HPの掲載内容により

5.8. 取組事例①セブン-イレブン・ジャパン





5.8.1. セブン-イレブン・ジャパンにおける優れた点

セブン-イレブン・ジャパンは、「変化への対応と基本の徹底」等の基本姿勢のもと、業界発の保存料や合成着色料の排除や、「食の安心・安全」を徹底するためのインフラ改革を実施する等多数の優れた点を保有している。

図表.5.8.1. セブン-イレブン・ジャパンにおける優れた点

経営理念等の基本姿勢(一例)

優れた点(一例) ※3

- あくまで一例
- 業界発の保存料・合成着色料排除等で、「食の安心・安全」を訴求
 - ex) 業界初の保存料・合成着色料排除 等
 - 「食の安心・安全」を徹底するためのインフラ改革
 - ex) 表面的な取組にどまらず、製造ライン、IT網、物流網等インフラ面からも改革を実施する 等
 - 「食の安心・安全」を提供するため食材調達・調理法の改善
 - ex) 「地域食材を使ったメニューの開発・販売」など、地域ならではの食の楽しみを提供 等

「食のおいしさ・食の安全・安心」※2

商品開発・物流管理・情報システム・店舗運営など、あらゆる分野での自己革新に挑戦

セブン-イレブンでは「食のおいしさ」を追求すると共に「食の安全・安心」にも積極的に取組んでいます。

- 栄養バランスとおいしさを両立するメニュー設計
 - ex) 管理栄養士が監修したメニューを200種類用意する一方、「全国のうまいもの特集」として地域の名産を提供 等

※1 セブンイレブンのスローガンより抜粋、※2 セブン-イレブンHP「知る・楽しむ」カテゴリー「食の安全・安心への取組」ページ内より抜粋、※3ヒアリング結果をもとにestにおいて考察したもの



5.8.2. セブン-イレブン・ジャパン：「食の安心・安全」の取組

セブン-イレブン・ジャパンは、様々な側面から「食の安心・安全」に取り組んでいます。

図表5.8.2. セブン-イレブン・ジャパン：「食の安心・安全」の取組 事例

対象		取組 事例	補足
工場		「NDF-HACCP」認定制度 遺伝子組換農産物完全排除	各工場の衛生管理状況を審査認定する制度。
原材料		保存料・合成着色料排除 農薬残留原則禁止	
管理		トランス脂肪酸低減 リン酸塩未添加	
商品・サービス		レシピマスターシステム 表示ガイドライン 安全な箸	原材料の产地、生産者などを一元管理するシステム。 価格、产地、賞味期限などの表記ガイドライン。 残留濃度基準を厳しく設定した箸。
		セブンプレミアム セブンミール	オリジナルブランド。「安心・安全」などを追求。 栄養管理士が監修したメニューの宅配サービス。

※ 出典：セブン-イレブン・ジャパン公式サイト

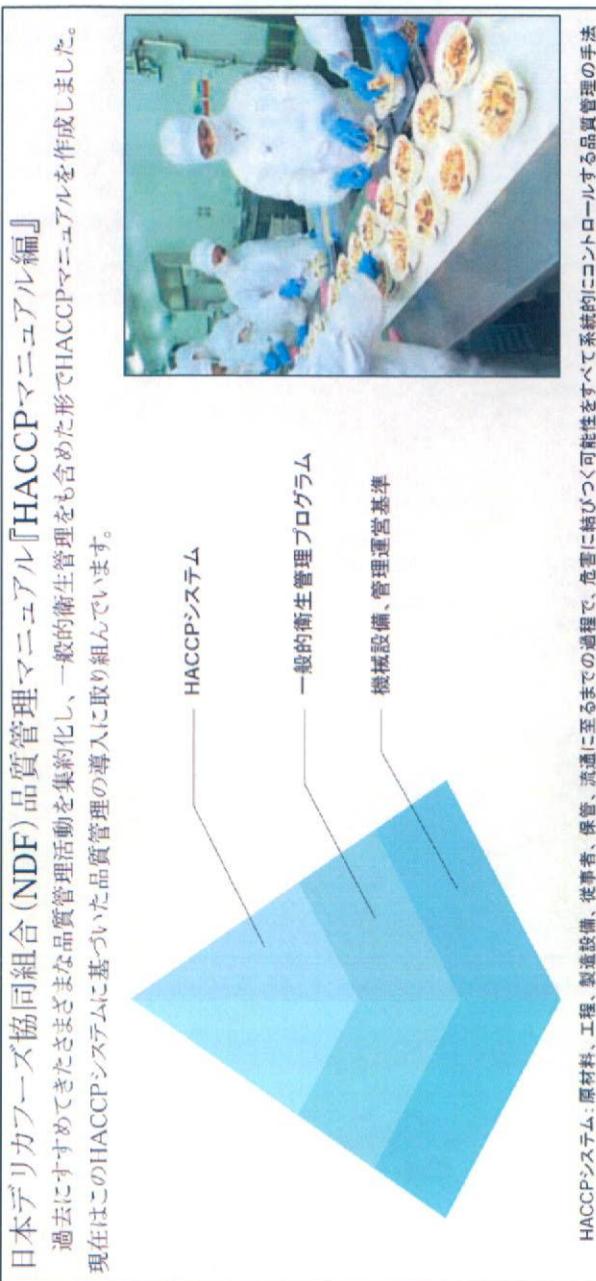
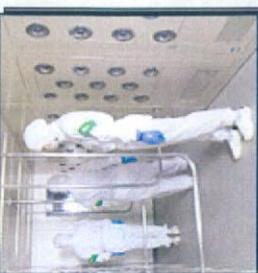
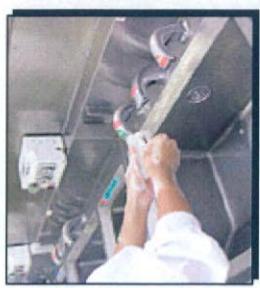
5.8.3. セブン-イレブン・ジャパン：「NDF-HACCP認定制度」

「NDF-HACCP認定制度」概要
「NDF-HACCP認定制度」

工場
工場

「NDF-HACCP認定制度」概要

各工場の衛生管理状況を審査・認定する制度。約140項目にわたって工場内の衛生管理状況をチェックする。2007年2月末現在、71工場がこの認定を取得している。



日本デリカフーズ共同組合：セブンイレブンのオリジナルディリー商品製造を委託している仕入先とともに設立した組合。

※掲載写真・画像は、取材において受領した資料、公式サイト内より抜粋



5.8.4. セブン-イレブン・ジャパン：「遺伝子組換農産物完全排除」

図表.5.8.4. セブン-イレブン・ジャパン：「遺伝子組換農産物完全排除」概要

「遺伝子組換農産物完全排除」

オリジナルデリーア商品には、遺伝子組換農産物を一切使用していない。

また、ナショナルブランド商品についても、できるだけ遺伝子組換農産物を使用した食品を販売しないように努めている。

遺伝子組換農産物について

お客様は遺伝子組換農産物の安全性に、疑問を持たれています。そこでセブン-イレブンでは、食を提供する立場として、遺伝子組換農産物や、それを使用した食品の使用・販売をしないようつとめています。

「食品安全・安全

原材料

内容の一例

(公式サイト内により一部抜粋)

遺伝子組換大豆を使わない
オリジナルの豆腐を提供しています
非遺伝子組換大豆を使用した豆腐

セブン-イレブンは商品を提供する立場から、お客様は遺伝子組換農産物などの安全性に疑問を持つていると捉えています。このため非遺伝子組換大豆を使用したオリジナル豆腐を販売するなど、遺伝子組換農産物や食品の積極的な使用・販売は避けています。



◆非遺伝子組換大豆を
使用した豆腐

※掲載写真・画像は、取材において受領した資料、公式サイト内より抜粋

Copyright © 2008 e-solutions All Rights Reserved.



5.8.5. セブン-イレブン・ジャパン：「保存料・合成着色料排除」

安全安心・安全

原材

内容の一例

保存料・合成着色料排除の取組。
2001年より開始、弁当・サンドイッチ・惣菜で実践している。

図表 5.8.5 セブン-イレブン・ジャパン、「保存料・合成着色料排除」

(公式サイト内より一部抜粋)



Copyright © 2008 e-solutions All Rights Reserved



5.8.6. セブン-イレブン・ジャパン：農薬残留原則禁止

食品安全

原材料

内容の一例

図表. 5.8.6.セブン-イレブン・ジャパン：農薬残留原則禁止

「農薬残留原則禁止」概要

食品への農薬、動物用医薬品の残留を原則禁止する制度。リストには一部残留を許容する薬品とその残留許容濃度のみが記されている。

(公式サイト内より一部抜粋)

お客さまの視点で
からだへの影響を確認しています
残留農薬、内分泌搅乱化学物質、アレルゲン表示

セブン-イレブンでは、現在各機関が解説を進めている問題についても、お客様の視点で安全への取り組みを行っています(※3)。

残留農薬・動物医薬品
農薬や動物医薬品に対する規制は、国により異なり異なるため、原材料は農場や栽培方法などの履歴確認ができるものか、セブン-イレブンの基準に基づいて栽培したものと調達しています。さらに、現地観察や現地からの報告書などの確認、日本での検査を実施して、品質の確認がとれたものを輸入しています。

！ 残留農薬・動物医薬品について
農薬や動物医薬品に対する規制は国により異なるため、原材料は農場や栽培方法などの履歴確認ができるものか、セブン-イレブンの基準に基づいて栽培したものと調達しています。さらに、現地観察や現地からの報告書などの確認、日本での検査を実施して、品質の確認がとれたものを輸入しています。

※掲載写真・画像は、取材において受領した資料、公式サイト内より抜粋

Copyright © 2008 e-solutions All Rights Reserved.



5.8.7. セブン-イレブン・ジャパン：「トランス脂肪酸低減」

「トランス脂肪酸低減」概要
「トランス脂肪酸低減」実践している。

欧米で規制強化の動きが出ており、トランス脂肪酸の使用量低減の取組。オリジナル商品「焼きたて直送便」(やきたてパン)で実践している。

図表. 5.8.7. セブン-イレブン・ジャパン：「トランス脂肪酸低減」

原材料

内容の一例

(公式サイト内により一部抜粋)

トランス脂肪酸とは?



トランス脂肪酸は、冠動脈心疾患のリスクを高めるされる血中LDLコレステロール(悪玉コレステロール)を上昇させ、HDLコレステロール(善玉コレステロール)を低下させるとされています。

一般的には、マーガリンを製造する過程で生成される物質ですが、天然由来の肉や乳製品にも含まれている物質です。

「焼きたて直送便」の取り組みについて



今回セブン-イレブンでは、原材料メーカーとの独自の取り組みにより、2006年2月までにワンサービング(一口分約5g)あたり平均0.6gであったトランス脂肪酸量を、2006年3月に平均0.2gまで低減しました。

※アメリカでは、ワンサービング(約5g)あたり0.5g以下のものは「トランス脂肪アリー」と表示が可能です。

代表的な商品

いちごジャム＆マーガリン



参考 欧米の対応

トランス脂肪酸の摂取量の多い欧米では、規制強化の動きが出ています。EUの一部の国では、トランス脂肪酸の含有量が制限され、アメリカにおいては、2006年1月より、トランス脂肪酸量の表示が義務付けられています。



※掲載写真・画像は、取材において受領した資料、公式サイトより抜粋
Copyright © 2008 e-solutions All Rights Reserved.

※表示しているトランス脂肪酸価値は、原材料をアメリカの基準に合わせAOCS公定法により分析した値より算出。



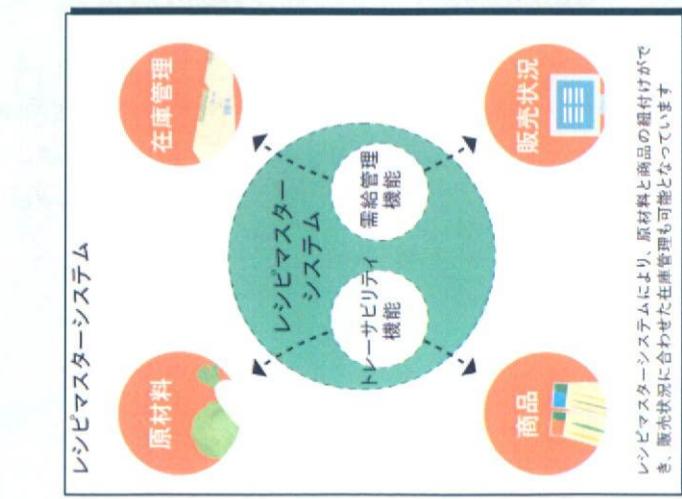
5.8.9. セブン-イレブン・ジャパンマスター・システム

安全安心・食

理
論

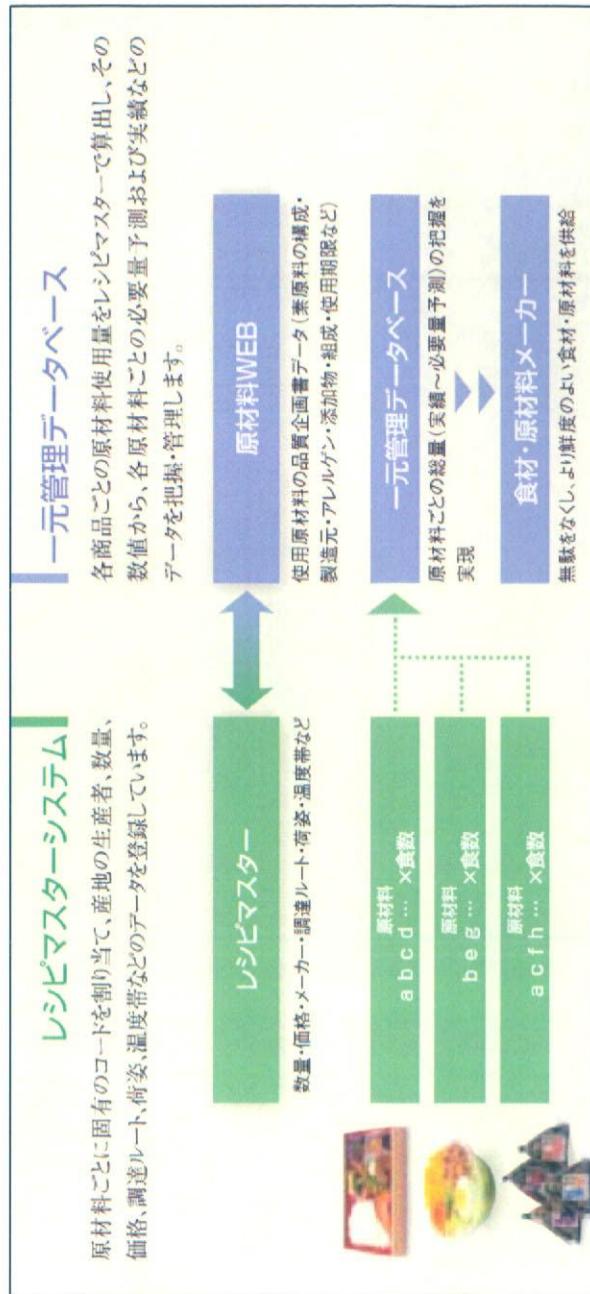
図表5.8.9. セブン-イレブン・ジャパンマスター・システム

「レシピマスターシステム」概要
原材料・包装容器の生産履歴・購入履歴・使用履歴・販売履歴を一元管理するシステム。



シピマスター 内容の一例

(公式サイト内より一部抜粋)



レシピマスター・システムにより、原材料と商品の紐付けがで
き、販売状況に合わせた在庫管理も可能となります。

※掲載写真・画像は、取材において受領した資料、公式サイト内より抜粋

Copyright © 2008 e-solutions All Rights Reserved



5.8.10. セブン-イレブン・ジャパン：「表示ガイドライン」

「表示ガイドライン」概要

価格・産地・賞味期限などをわかりやすく、正確に表記することを徹底させたためのガイドライン。優良誤認させる表示、明確な根拠のない表現を禁止している。

図表.5.8.10. セブン-イレブン・ジャパン：「表示ガイドライン」

「商品・サービス」

内容の一例

(公式サイト内により一部抜粋)

■オリジナルディリーア商品のラベル表記

商品ラベルの表記は、JAS法や食品衛生法での規定に基づいて表記を行っています。加えて、商品名稱では「優良誤認」を招く言葉の使用禁止、アレルゲン表示は24品目を表示するなど、適切な情報の提供に努めています。

「表示ガイドライン」の例

セブン-イレブン表示ガイドラインの例	
表現	表示の規定
○○産旬	产地から工場まで、明確に管理できた原材料を使用していること 国産品で新鮮であること (冷凍品は不可)
びっくりたくさん、たっぷり、大きい。	セブン-イレブンの通常品より大きいままたは比較できる市販商品平均より20%以上大きいこと '大きい'については、同様に50%以上大きいこと
特級、特上、特別、等	明確な定義のない表示をしない



※掲載写真・画像は、取材において受領した資料、公式サイト内より抜粋

Copyright © 2008 e-solutions All Rights Reserved.



5.8.11. セブン-イレブン・ジャパン：「安全なお箸」

図表.5.8.11. セブン-イレブン・ジャパン：「安全なお箸」

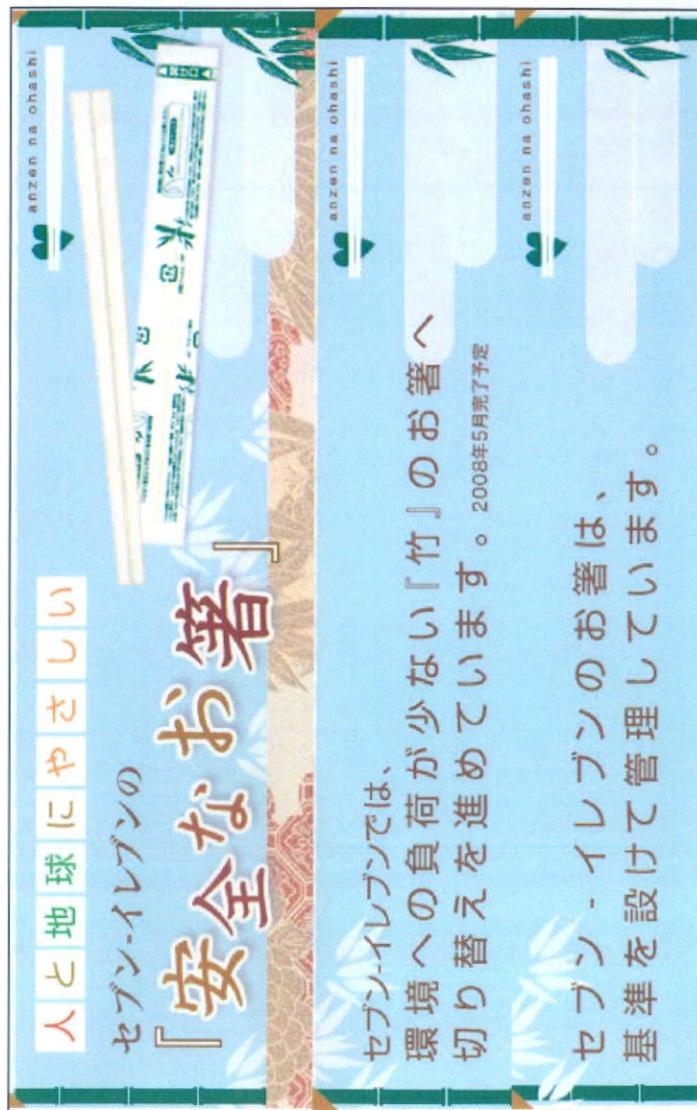
「安全なお箸」概要

原材料殺菌に使用する二酸化硫黄の残留濃度基準を厳しく設定している。
また、環境への負担が少ない『竹』のお箸へ切り替えを進めているなども取り組んでいる。



内容の一例
商品・サービス

(公式サイト内より一部抜粋)



※掲載写真・画像は、取材において受領した資料、公式サイト内より抜粋



5.8.12. セブン-イレブン・ジャパン：「セブンプレミアム」

オリジナルブランド「セブンプレミアム」概要
内容の一例

図表. 5.8.12. セブン-イレブン・ジャパン：「セブンプレミアム」

「安心・安全・健康」、「最高の味・技術」、「日常性・利便性」を商品開発のキーワードに、セブン・&アイ・ホールディングスのグループ横断チームを組成し開発。
食品からスタートし、現在では日用品まで商品ラインナップは広がっている。
(下記写真はスタート時のラインナップ)

(公式サイト内およびニュースリースにより一部抜粋)

The screenshot shows the Seven Premium website interface. At the top, there are two main tabs: 'Food Safety & Safety' (食の安心・安全) and 'Products & Services' (商品・サービス). Below these are several promotional banners and a grid of product categories.

- Food Safety & Safety (Food Safety & Safety):** A banner featuring various food products with the text: '毎日のように使うものだから『安心・安全・おいしい』を徹底して追求しました。' (We thoroughly pursue 'Safety & Safety' for every item we use daily.)
- Seven Premium [New Launch]:** A banner for the '7つのプレミアム' (7 Premiums) series, featuring a product labeled '新登場' (New Launch).
- Product Categories:** A grid of nine categories with representative products:
 - 乾物 (Dried Goods): Includes various dried fruits and snacks.
 - 珍味 (Curiosities): Includes pickles and condiments.
 - インスタント食 (Instant Food): Includes instant noodles and soups.
 - 飲料 (Drinks): Includes various juice and soda bottles.
 - 100円シリーズ (100 Yen Series): Includes various 100 yen items.
 - 和惣菜 (Japanese Delicacies): Includes various Japanese-style packaged meals.
 - ヨーグルト (Yogurt): Includes yogurt containers.
 - 菓子 (Confectionery): Includes various candies and chocolates.
 - 軽食 (Light Snacks): Includes various chips and snacks.
- Seven Premium [New Launch]:** A banner for 'セブンプレミアム' (Seven Premium) featuring a product labeled '新登場' (New Launch).
- Product Details:** A detailed view of a product page for '紅茶タータリ100%' (Red Tea Tartar 100%). It shows the product image, price (288 yen/tax included), and a note: '複数のナットチョコ: 238円(税込)' (Multiple nut chocolates: 238 yen tax included).

※掲載写真・画像は、取材において受領した資料、公式サイトより抜粋

5.8.13. セブン-イレブン・ジャパン、「セブンミニーラー」

概要「ミール・セブン・サービス」達配食事お

「食」から始める健康づくりのヒント情報も提供している。



図表5.8.13.セブン-イレブン・ジャパン:「セブンミール」

内容の一例

(公式サイト内より一部抜粋)



5.8.15. セブン-イレブン・ジャパン：「専用工場・専用ライン」

「専用工場・専用ライン」概要

全国24箇所に「焼きたて直送便」
(オリジナルパン商品)専用工場を設置。
焼きたてを店舗近くの専用工場から
最寄店舗に配達している。

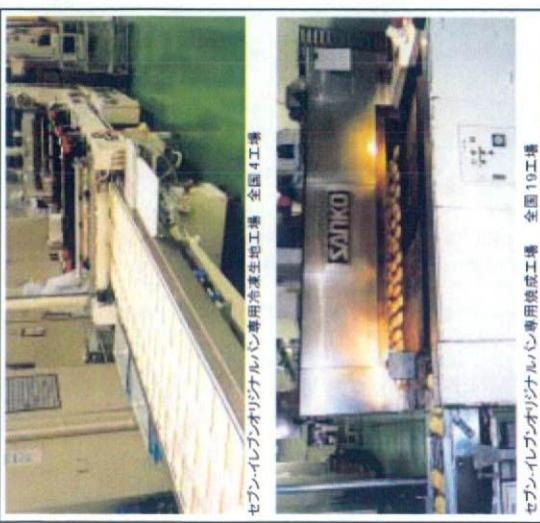


図表. 5.8.15. セブン-イレブン・ジャパン：「専用工場・専用ライン」

内容の一例



(公式サイト内および「環境報告書2001」より一部抜粋)



セブン-イレブンオリジナルパン専用焼成工場 全国4工場



5.8.16. セブン-イレブン・ジャパン：「コールドチーズシステム」

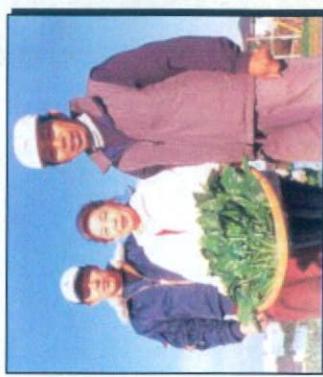
図表 5.8.16. セブン-イレブン・ジャパン:「コールドチェーンシステム」

「コールドチェーンシステム」概要

野菜の产地から、中継基地、専用工場を経て店舗に至るまで途切れることなく低温に保ち続ける輸送システム。新鮮で栄養価の高い野菜をお客様に提供している。

内容の一例

(公式サイト内より一部抜粋)



※掲載写真・画像は、取材において受領した資料、公式サイト内より抜粋



5.8.17. セブン-イレブン・ジャパン：「 $20^{\circ}\text{C}(\pm 2^{\circ}\text{C})$ 」の維持】

食の美味しさ・
楽しさ

流通

図表. 5.8.17. セブン-イレブン・ジャパン：「 $20^{\circ}\text{C}(\pm 2^{\circ}\text{C})$ 」の維持」概要

「 $20^{\circ}\text{C}(\pm 2^{\circ}\text{C})$ 」の維持

生産・加工・配送・陳列にいたるまで、
おにぎりの美味しさ・鮮度維持のため、
常に $20^{\circ}\text{C}(\pm 2^{\circ}\text{C})$ を維持する取組。
おにぎり配送の特別車両や弁当陳列
ケースの開発・導入まで徹底して実践。



(公式サイト内および「環境報告書2001」より一部抜粋)

セブン-イレブンのおにぎりには、美味しいと鮮度を保つた
めに、ある工夫がされています。

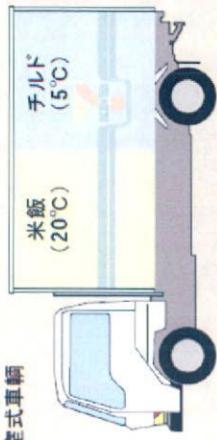
何度もテストを繰り返した結果、ご飯の美味しいさを保ち、かつ商品の劣化を最小限に抑ええることのできる温度は、お寿司屋さんのシャリと同じ温度、 20°C であるということが判明。

炊きたてご飯をちょっとひり冷ましたこの 20°C を、土 2°C の範囲で保つという厳しい規定をクリアするため、生産・加工する工場や共同配送センターはもとより、あいざりを運ぶ、トランクの車内も、夏は冷房、冬は暖房で、常に 20°C に設定されています。

こうした、おいしさ配達のための特別車両や温度を一定に保つ弁当陳列ケースの開発・導入が、工場で作られてからお客様がお店で手にとるまでの間、ずっと $20^{\circ}\text{C}(\pm 2^{\circ}\text{C})$ に保つことを可能にしました。

ひっかひみかのご飯でつくったできたておにぎりを、最高の状態でお客様に。

専用配送車両



2室式車両

※掲載写真・画像は、取材において受領した資料、公式サイトより抜粋